

令和3年度 市民アンケート調査 基本集計結果概要

1 調査概要

満18歳以上3,000人の市民を対象に実施し、1,296人（43.2%）が回答

2 調査結果

(1) 現在の三条市の全体としての評価

「どちらでもない」が42.4%、「大変満足」又は「満足」が35.5%、「不満」又は「大変不満」が13.1%だった。

(2) 個別分野の満足度及び重要度

各種検診や健康教室といった「市民の健康づくり」や「上水道の供給」「消防体制」といった項目に対する満足度が高い一方、バスや鉄道の利便性といった「公共交通対策」や「商業の振興」「雇用対策」といった項目に対する満足度が低い。

また、救急医療、時間外診療等といった「医療体制」や街灯の設置、冬場の除雪・消雪等といった「道路環境」に関する取組などが今後特に重要と認識されている。

(満足度)

順位	項目	満足度
1	市民の健康づくり	3.255
2	上水道の供給	3.244
3	消防体制	3.228
4	防災対策	3.140
5	行政サービス	3.134
⋮		
33	観光の振興	2.687
34	道路環境	2.670
35	雇用対策	2.645
36	商業の振興	2.569
37	公共交通対策	2.543

(重要度)

順位	項目	重要度
1	医療体制	4.245
2	道路環境	4.220
3	治水・排水対策	4.083
4	雇用対策	4.019
5	防災対策	4.018
⋮		
33	広域行政	3.522
34	地域福祉活動	3.419
35	スポーツ活動	3.406
36	市民活動支援	3.342
37	生涯学習、芸術文化活動	3.330

(3) 個別分野の市民ニーズ度

各項目の「重要度」から「満足度」を減じた「市民ニーズ度」では、「道路環境」に関する施策へのニーズが最も高く、次いで人材確保、就業支援といった「雇用対策」、商店街活性化、商店支援等といった「商業の振興」、重要度が最も高かった「医療体制」、満足度が最も低かった「公共交通対策」が続いている。

(市民ニーズ度)

順位	項目	ニーズ
1	道路環境	1.551
2	雇用対策	1.374
3	商業の振興	1.275
4	医療体制	1.264
5	公共交通対策	1.248
⋮		
33	地域福祉活動	0.394
34	市民の健康づくり	0.365
35	市民活動支援	0.338
36	スポーツ活動	0.293
37	生涯学習、芸術文化活動	0.262

(4) 将来に対する意識

今後も三条市に住み続けたい(「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」)市民の割合は60.1%、「どちらかと言えばそう思わない」又は「そう思わない」は7.0%

住み続けたいと思わない主な理由は「交通の便が悪いから(46.7%)」「老後の生活が不安だから(38.9%)」「娯楽や余暇を過ごす場が少ないから(35.6%)」となっている。

また、将来に対する悩みや不安として「自分や家族の健康・病気のこと(69.6%)」「生活のための収入・貯金のこと(43.6%)」「身体が不自由になり、介護が必要な状態になること(32.2%)」を上げる割合が高かった。